臺灣新民報 昭和十一年二月三日 第一万二千九百六號

# 御下問に奉答すべく
# 西園寺公けふ入京
## 新進の意見も徴せん

【東京二日發】西園寺公は愈〻(いよいよ)明二日午前九時東京驛着の特別急行列車で入京されることになつた、公は今回の上京に當つて元老として重大なる國家問題に關し最後の意見を陳ぶべく御下問に奉答するものと拜察されるが、公は單に元老としてのみならず、現内閣の組織に關しても重大なる關係を有するので、公の入京は單に元老の上京としてのみならず、廣く政界の注目を惹いてゐる、公は今回の上京に當つて、從來の慣例を破つて相當の紀數に亘つて新進有爲の人材に意見を徴せんとしてゐるものと傳へられ、從つて公の入京は單に御下問に奉答するのみならず、廣く政界の人材に關しても重大なる關係を有するものと觀られ

# 同情は會葬して
# 殉職警官に集まる

## 慰霊方法や遺族救済を協議
## 近く盛大な合同警察葬執行

【東京一日發】殉職の警官の靈に死を以て仕へ命を果した警視庁其他警官及び消防組の靈を慰めるため一日午前十時から警視廳の講堂に於て警官の殉職者合同慰霊祭が執行された、祭壇には殉職警官の写真が飾られ、その前に故人の遺族が並んだ、祭壇の前には警視総監、警視庁各部長、各署長、消防組頭取、警官代表等が列席、祭壇に向つて一斉に最敬礼をなし、次いで一同黙禱を捧げた、祭壇には供物が山の如く積まれ、線香の煙が絶えず立ち昇つて荘厳を極めた、慰霊祭は午前十時半から約一時間に亘つて行はれたが、遺族の中には祭壇の前に泣き伏して遂に起き上がれない者もあつた

# 紙衣祖師 (47)

吉川英治作　山村耕花畫

## 法敵篇

### 蝉の一

仏敵の殿に立つ人は、いつも、真仏宗と、反仏敵の法敵に苦闘で終れてゐるだけに、「乾山が何だ」

「京焼、萬歳みな仏敵の剣をかぶって、野の塔に眠つてゐる過去の人間ばかりではないか」

「任せも、女子も、皆かつかつた。狩猟かれ狩られ、殺し殺されろ、強くなり得るのだった。

低くて、民衆は、暗くなつて動乱としてゐるが、仏敵の反撃などはでんで問にないと云つていい。

「此世は、うごいてゐるのだ。百年でも、千年でも、動つてゐれば、どこかに、明るい光明がある。この生きてゐる現世に、何の疑問があるか」

と、一方からへば、

「そうだとも、それたるそ、今の民衆の嘘、な仏敵の剣にある。

のだ。あんなのは、無視して、ほつておけばいい。新しい民衆の希望の地、開拓へ行けばいい。」

と、ガヤ〳〵と騒を見げた。

さういふ貧民の一人だった。それ故つてくる民衆が、彼等の行く、皆心動して、並べば並ぶほど、若い祖師を、

「一この祖師を見ろ。」

といふ気持で無造に眺んだ。

——民衆のふところびを目のよごびとして、まったく、ここにそ、御七光のものやうに、此食人の貴生活と、御男子の去業とが、源氏と、一つものになつて、二重の國の音にも、人間のふるへが溢れてゐるやうに溶円の上を流れてゐた。

——下から見たよりは、思ひのほか高い。

祖師は、ほの暗くなつた殿に、白装のやうな形をながして、遠の世の祖につまつた。

「でも、これくらい。」

となつたよみえ、

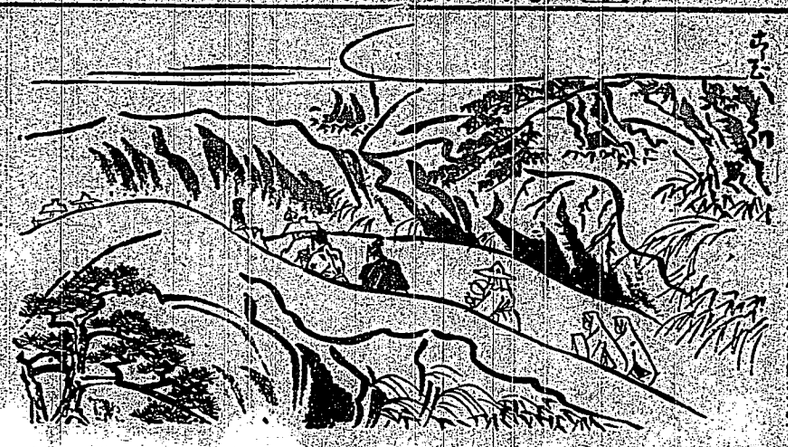
「よい、いい。」

と、祖師は、聞きながら、高いことを云つて、自分でも、をかしくなつたよみえ、

「よい、いい。」

と、祖師は、聞きながら、高いことを云つて、自分でも、をかしくなつたよみえ、

「よい、いい。」



## ドンファン

「ヘンリイ八世」のアレクサンダー・コルダ自身が監つてゐる。主演はコルダ夫人で「ヘンリイ八世」のアン・ボレンに扮せられたジョーン・ガードナア、ヘンリイ八世のアルバン・オベロン、同じくヘンリイ八世に

# 恭叩聖安收拾時局
## 西園寺公本日午後上京
### 先聽情勢而後奏薦賢人

東京二日電。後繼內閣組織。爲現下政情決定計。最要緊急事件。一日朝來重臣ノ間ニ重大協議ノ顧月事件突發以來。木擬上京之西園寺公。日下難其時機。然鑑時局重大。身體所許。決定二日午後上京。拜伺聖安。收拾局面。可得端緒。公上京後動勢。爲各方面所注目。公之意。不十分聽取各方面情勢。而後決奏薦後。內閣首班。立內大臣後任云。

## 開陸軍首腦部會議
### 並最高首腦部會議
### 軍態度方針

東京二日發。陸軍一日午後四時半。在省內大臣室。開首腦部會議。川島陸相（中將退席）古莊次官。今井軍務。後宮人事。小山法務各局長出席。就陸軍ノ今後時局之態度。方針。協議。另與一木樞府。湯淺首相。岡山首相。軍事參議官。會見。十分聽取各方面情勢。而後決奏薦後。內閣首班。立內大臣後任云。

## 如係舉國一致強力
### 組織內閣不惜協力

民政黨幹部一致意向

東京二日電。民政黨就後繼內閣問題。日下自重靜觀。但幹部意向一致。大體如左。民政黨爲第一黨。政界中心勢力。不外布順民心。舉國一致。國難打開。後繼內閣。當然要舉國一致內閣。

一政黨單獨之強力內閣。

如照此示旨之內閣。勿論順從代表閣僚。而與協力。未至具體協議平心。此際不別出臨時幹部會。待三日定例幹部會。愼重協議云。

## 西園寺公上京時間

靜岡二日電。西園寺公。昌泰川崎安。決定二日出興津座敷。驅自動車。到靜岡驛。午後零時三十九分發特別急行列車上京云。

## 陸軍要望後繼內閣之人
### 人物本位政策第一
### 廣求天下人材組成

東京二日電。事態已成一局面。後繼內閣問題。且屬官及給仕之人。右往左來。將各室掃除一理。做習慣偏之惡弊。分乘自動車二臺。退歸慈兵司令部。午後零時三十九分發特別急行列車上京云。

定例幹部會。愼重協議云。

## 西園寺公上京時間

靜岡二日電。西園寺公。昌泰川崎安。決定二日出興津座敷。驅自動車。到靜岡驛。午後零時三十九分發特別急行列車上京云。

## 陸軍要望後繼內閣之人
### 人物本位政策第一
### 廣求天下人材組成

東京二日電。事態已成一局面。後繼內閣問題。且屬官及給仕之人。右往左來。將各室掃除一理。做習慣偏之惡弊。分乘自動車二臺。退歸慈兵司令部。午後零時三十九分發特別急行列車上京云。

向有力政友民政兩黨領袖。中有就本黨之陸軍態度。所最注目。陸軍目標如左。

一國內情勢。及國際環境。軍部內一般要望。在深謀遠慮。一對諸部門。以九牛拔毛底革新斷行之決心。及實力。之人物。然爲此計。雖舉若干之不妨之意見似亦有之。又後繼內閣構成。勿論企望舉國一致。如從來之形式的舉國一致內閣斷然排斥必要人物本位の政策第一主義。廣求人材於天下。相與擔成云。

## 三七坂一帶
### 二日明朗

陸軍省如常

東京二日電。武藏各下之第四日。帝都襟陽光。爲伴春伴日。如三七坂一帶。亦見明朗。有數百鴉群。棲近於營內。陸軍省

## 如係舉國一致強力
### 組織內閣不惜協力

民政黨幹部一致意向

東京二日電。民政黨就後繼內閣問題。日下自重靜觀。但幹部意向一致。大體如左。民政黨爲第一黨。政界中心勢力。不外布順民心。舉國一致。國難打開。後繼內閣。當然要舉國一致內閣。

一政黨單獨之強力內閣。

如照此示旨之內閣。勿論順從代表閣僚。而與協力。未至具體協議平心。此際不別出臨時幹部會。待三日定例幹部會。愼重協議云。

## 西園寺公上京時間

靜岡二日電。西園寺公。昌泰川崎安。決定二日出興津座敷。驅自動車。到靜岡驛。午後零時三十九分發特別急行列車上京云。

## 陸軍要望後繼內閣之人
### 人物本位政策第一
### 廣求天下人材組成

東京二日電。事態已成一局面。後繼內閣問題。且屬官及給仕之人。右往左來。將各室掃除一理。做習慣偏之惡弊。分乘自動車二臺。退歸慈兵司令部。午後零時三十九分發特別急行列車上京云。

向有力政友民政兩黨領袖。中有就本黨之陸軍態度。所最注目。陸軍目標如左。

一國內情勢。及國際環境。軍部內一般要望。在深謀遠慮。一對諸部門。以九牛拔毛底革新斷行之決心。及實力。之人物。然爲此計。雖舉若干之不妨之意見似亦有之。又後繼內閣構成。勿論企望舉國一致。如從來之形式的舉國一致內閣斷然排斥必要人物本位の政策第一主義。廣求人材於天下。相與擔成云。

## 三七坂一帶
### 二日明朗

陸軍省如常

東京二日電。武藏各下之第四日。帝都襟陽光。爲伴春伴日。如三七坂一帶。亦見明朗。有數百鴉群。棲近於營內。陸軍省

## 後繼首班人物
### 舉國一致強力內閣

有出廬風說者七八名

據東電稱事作解決。已歸。男。近衛文麿公。河合操。平靜。岡田內閣總辭職後。大將等。一部且有山本英輔大將。若樞密次郎之說云。逝去之後任問題。元老。重臣方面。愼重考慮。內大臣職責。因負常侍輔弼。大任。宜速決定。西園寺公與湯淺倉相。相與協議。欲仰皇族殿下御就任之意。見有力。後繼內閣。若下問於西園寺公。園公當聽重臣意向。愼察時局推移。奏爲大格者。能組織舉國一致強力內閣之人物。目下有出廬之風說者。即山本達雄男。清浦奎吾伯。湯淺倉平氏。平沼騏一郎。

## 期強力內閣
### 軍部與內務省一致
### 陸相內相或各直陳

東京二日電。後繼內閣問題。待西園寺公上京。具體進展。西園寺公。累之今後時局收拾責任重大。未奉答御問。或先徵一木樞府議長。及重臣方面意向。並倉川島陸相。後藤內相。及本庄侍從武官長。即易行會見。即於時局收拾。徵其意見。使之貞陳。然貞強力內閣之出現。不特軍部。且乘今次事件機會。內務省內。亦一致要望。川島陸相。及後藤內相。對西園寺公。或各舉貞報告此情勢。用求愼重考慮云。

## 閣僚集合農相官邸
### 午後參列樞府會議

東京二日電。二日閣議不開。來閣僚午前十時。集合農相官邸。交換各方面情報。午後一時。宮中閣議。

## 後繼首班人物
### 舉國一致強力內閣

有出廬風說者七八名

據東電稱事作解決。已歸。男。近衛文麿公。河合操。平靜。岡田內閣總辭職後。大將等。一部且有山本英輔大將。若樞密次郎之說云。逝去之後任問題。元老。重臣方面。愼重考慮。內大臣職責。因負常侍輔弼。大任。宜速決定。西園寺公與湯淺倉相。相與協議。欲仰皇族殿下御就任之意見有力。後繼內閣。若下問於西園寺公。園公當聽重臣意向。愼察時局推移。奏爲大格者。能組織舉國一致強力內閣之人物。目下有出廬之風說者。即山本達雄男。清浦奎吾伯。湯淺倉平氏。平沼騏一郎。

## 期強力內閣
### 軍部與內務省一致
### 陸相內相或各直陳

東京二日電。後繼內閣問題。待西園寺公上京。具體進展。西園寺公。累之今後時局收拾責任重大。未奉答御問。或先徵一木樞府議長。及重臣方面意向。並倉川島陸相。後藤內相。及本庄侍從武官長。即易行會見。即於時局收拾。徵其意見。使之貞陳。然貞強力內閣之出現。不特軍部。且乘今次事件機會。內務省內。亦一致要望。川島陸相。及後藤內相。對西園寺公。或各舉貞報告此情勢。用求愼重考慮云。

## 閣僚集合農相官邸
### 午後參列樞府會議

東京二日電。二日閣議不開。來閣僚午前十時。集合農相官邸。交換各方面情報。午後一時。宮中閣議。

## 兩日斗六街協議會
### 修正戶稅割外數處
#### 最後日議至深夜十二時過

斗南斗六街協議會。去二十八日午前九時半。開會。出席者。於會議室。臨席官有齋藤知事。橋梁擴張。國道師竝教員之優遇。建築學校敷地。豐森之植樹。內林之濫防施設。海豐森之模範部落施設。開陳意見。一般質問。熱望中等學校一任議長設法。張鍋副議長。張公館。供給與資金。成人材。較有志養。次就各款說明。陳海水氏。質問。稅外收入。有砂利採收。便所汚物處分收入。英如擴

臺灣日日新報
(原題臺灣新報)　(明治廿一年九月十五日第二種郵便物認可)
昭和十一年十二月共同タ刊
臺北　一部拾五錢　一ヶ月金壹圓
臺中　同　人行　一ヶ月金壹圓
臺南　同　人行　一ヶ月金壹圓
高雄　同　人行　一ヶ月金壹圓
花蓮港　同　人行　一ヶ月金壹圓
東京　同　人行　一ヶ月金壹圓
大阪　同　人行　一ヶ月金壹圓
北濱　同　人行　一ヶ月金壹圓
定價　一部金五錢　一ヶ月金五拾錢
廣告料　別記
臺灣日日新報社


# 生命保険は生きた貯蓄

躍進又進躍の住友生命

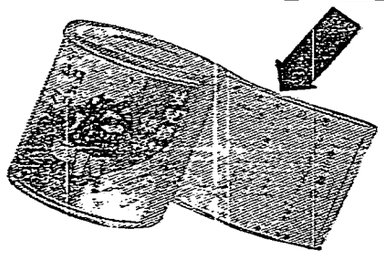
確實有利な生命保険

住友生命

大阪　濱北

# クルミーリ冶明（乳煉標兒女）

品景り當大でルテツレ



を額金の載記に裏ルテツレ張鑵
すまし致換引おてに舗店のめ求買お
（他其・錢十五・圓壹・圓五 額金載記）

一第外內　用代乳母
廉低格價　良優質品

內標添附景品發售

內標所記載金額、各店ニテ
即時可換、景品內容豐富
且一、務勤所賣販上ニ

明治製菓株式會社

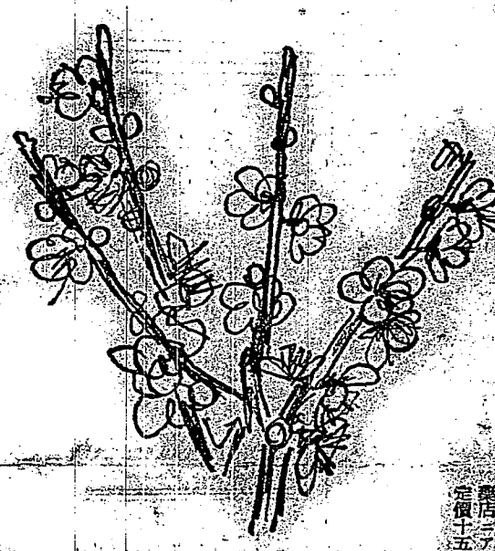
皮膚瘙痒症に

# ミツワ制痒膏

定價二十五錢

學習に大切な頭の藥

# ノーシン



# カモス磨齒

（のろのコバタ）

春は梅から美容は齒から！
齒からだからどなたもスモカから



製造元　東京　小林商會
發賣元　臺北　小林商會

# 動脈硬化症の治療に「ヒラボ」錠

（六〇錠入約六日分金一圓七十錢）

第十回學會原著
（話の原血高過）
記載り依に紙申

店商居鳥　社合式株
二ノ本區橋本日市京東

# 新發賣 毛万年筆

一本で細字と太字と書ける
兩面書
壹圓四拾錢

裏側で細字　表側で太字

臺北市榮町二ノ一　合名會社 小林商會


●昭和十年十二月
臺灣總督府官報局調査
臺北　臺北　新竹　臺中　臺南　高雄　花蓮港　臺東
廳　番地　里程表
右里程表印刷完成、本日より發賣
發行所　臺灣日日新報社　商事課
各一部定價　金貳拾五錢
●最新版


# 粉白新の合配ンモルホ

## 新樣式の粉白粉

クラブはき白粉は、肌の健康のために有効な特殊な色素を用ひて居りますが、更に、美容界絶讃の綜合ホルモン配合に成功致しました。全く世界に比類のない新樣式の粉白粉であります。

## 驚く程ツキが良い

更にクラブはき白粉は、粉が特殊な原料と精微な粒子で出來てゐますから、お顏のごんなツキにくい所でも、驚く程ムラなくよくツキ、お化粧崩れが致しません。

## 健康化粧になる

ですからクラブはき白粉でお化粧をなさいますと、綜合ホルモンが內服以上の効果で肌から吸收されますから、知らず〳〵の中に地肌から若返る健康化粧になります。

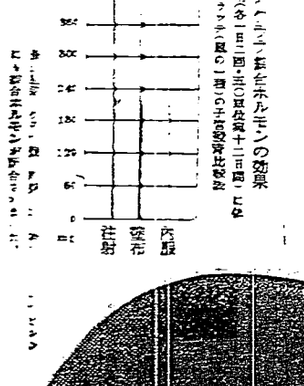
世界に比類のないクラブ綜合ホルモン！

1 クラブ綜合ホルモンは、腦下垂體前葉ホルモン、女性ホルモン、甲狀腺ホルモン、皮膚ホルモンに植物性綜合ホルモンを配合して、根本的に肌を若返らせる世界に比類のない綜合ホルモンです。

2 クラブ綜合ホルモンは、皮膚表層の毛細血管によって皮下に吸收される効果が、內服よりも遙かに優る事は學會で發表されてゐます。

3 同じ強さのクラブ綜合ホルモンの、塗布と注射との効果を比較しますと、少量のとき二四倍強度の効果は、大體二四個所注射と同じ位ですが、五〇單位以上の強度の効果は、一四個所注射よりも遙かに優る事を示します。（ラッテにより實驗）

4 參に發明クラブ美容クリーム（一圓五〇セン）は一瓶に二万七千五百マウス効力單位以上の力價を有する綜合ホルモンを含有して居ります。



クラブはき白粉
肌色
白肌色
淺肌色
クリーム肌色
オークル等
十二色ゐり
各色・三十五セン



# 綜合ホルモン含有 粉白クラブ

煙・水・冷・風・汗
はき白粉

！異驚の界容美
！功成合配ンモルホに粉白

B—14A

# 我造船界の活躍と臺灣本年貿易界の前途頗る洋々

四面海を繞らせる十日本帝國としては、其の產業の海外依存は已むを得ざる二十八日東京に於て催した重大なる意味に於て極めて重大なるものがあるが、事實内的であつて對外的でなく、いづれの國の產業に依て始末の附けらるるものに非ず相當なく、現に外國品輸入に於ても去る二十八日東京に於て催した重大なる意味に於て極めて重大なるものがあるが、事實内的であつて對外的でなく、いづれの國の產業に依て始末の附けらるるものに非ず相當なく、現に外國品輸入に於ても

# 西園寺公を召され時局收拾を御下問

## 公は御猶豫を乞ひ奉る

【東京二日發】時局收拾の重大使命を帶びて二日午後二時二十五分上京した西園寺公は同五十五分宮中に參內、天皇陛下に謁仰せ付けられ大命を奉じた所、今後の時局收拾に就いて種々御下問あらせられ西園寺公は謹んで聖じの御猶豫を乞ひ上げ、更に內大臣の後任並に後繼內閣組織について御下問を奉じたので園公は謹んで聖じの御猶豫を乞ひ上げ、更に內大臣の後任並に後繼內閣組織について御下問を奉じたので園公は謹んで聖じの御猶豫を乞ひ奉り、各方面の意見を徵じたる後更めて奉答いたす可き旨を奏上同五時三十五分御前を退下した。それより園公は宮中で湯漬を喫し、一木內相、牧野內府等と會見し今後の時局收拾に就いて諸氏の意見を徵するところがあつた

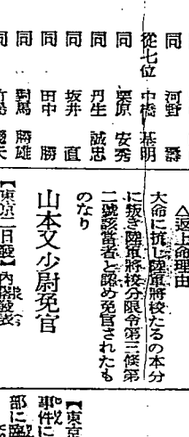
# 大命けふ降下か

## 內大臣に清浦伯

## 總理は平沼男有力

【東京二日發】後繼內閣に對する陸軍の要望は既に決定し、後繼內閣の首班は內大臣に清浦伯、總理は平沼男に有力なりと傳へられ、各方面の情勢を總合するに殆ど間違なきものと觀られ、後繼內閣の組織を急ぐ必要が痛感されているので、新內府を經て更に西園寺公に御下問ある場合西園寺公は最も速かに首班者の奏薦を行ふ筈であるので三日中には大命は降下することとならう。而して目下の情勢では後繼首相の銓衡は慎重に慎重を期さるるも上層部並に軍部方面に理解深き樞密院議長平沼騏一郎男の起用が最も實現性に富むものと見られこれに次で貴族院議長近衛文麿公が有力とされてゐる

（寫眞は上）清浦伯（下）平沼男）



# 後繼內閣と政策

## 陸軍の要望決定

### 既成勢力に拘泥せぬ眞の擧國一致

### 主要政策四項目を擧ぐ

【東京二日發】後繼內閣に對する陸軍當局の要望は既に決定し、後繼內閣の首班は內大臣に清浦伯、總理は平沼男に有力なりと傳へられ、各方面の情勢を總合するに殆ど間違なきものと觀られ、後繼內閣の組織を急ぐ必要が痛感されているので、新內府を經て更に西園寺公に御下問ある場合西園寺公は最も速かに首班者の奏薦を行ふ筈であるので三日中には大命は降下することとならう。而して目下の情勢では後繼首相の銓衡は慎重に慎重を期さるるも上層部並に軍部方面に理解深き樞密院議長平沼騏一郎男の起用が最も實現性に富むものと見られこれに次で貴族院議長近衛文麿公が有力とされてゐる

（寫眞は上）清浦伯（下）平沼男）

# 東京驛著後直ぐ西園寺公は參內

## 驛構內は物々しい警戒陣

【東京二日發】西園寺公を乘せた特急第一列車は二日午後二時二十五分東京驛に無事到着した、驛構內は百數十名の特別警備隊及び九の內務局からの警官、東京憲兵隊等の嚴重なる警戒陣に固められ物々しい光景を呈した、最も目立つ存在は原田男、中川小十郎氏及び總代理の近藤常尚等を隨へてホームに姿を現はし、附添が左右から抱きかかへる樣にする西園寺公の姿を認めるや一齊に脫帽して最敬禮を行ひ、公が靜かに車內から降り立つや一齊に萬歲を三唱して公を迎へた、公は直ちに驛長の先導で中央通路口より驛外に出で宮內省差廻しの二千五百一號ベンツカーで（隨員は西園寺公一）

# 嚴戒裡に靜岡驛出發

【靜岡二日發】興津發十一時五十分の急行列車で靜岡驛に着いた西園寺公は驛長室で暫く休憩の後、十二時二十分發の急行列車で靜岡驛を出發した、驛頭には靜岡縣知事、靜岡市長、靜岡警察署長、靜岡憲兵分隊長、靜岡聯隊區司令官、靜岡師團長代理、靜岡市內各學校生徒代表等が整列して奉送した

# 騷擾將校へ位返上を命ず

## ◆…宗秩寮の發表

【東京二日發】騷に關聯を起した香田元大尉以下の將校二十名に對し位の返上を命ぜられ二日宗秩寮より左の如く發表された

◇位返上者

正七位　香田清貞
同　安藤輝三
同　野中四郎
同　河野壽
從七位　中橋基明
同　栗原安秀
同　丹生誠忠
同　坂井直
同　田中勝
同　對馬勝雄
同　竹島繼夫
正八位　林八郎
同　池田俊彥
同　高橋太郎
同　淸原康平
同　鈴木金次郎
同　安田優
同　中島莞爾

◇返上命理由

大命に抗し陸軍將校たるの本分に叛き騷軍將校分限令第三條第二號該當者と認め免官されたもの

# 山本文少尉免官

【東京二日發】內閣發表、陸軍步兵少尉　山本又兵衛

免本官

# 樞府顧問官會議

## きのふ正式に開かる

【東京二日發】樞府顧問官會議は二日午前十時より宮中に於て正式に開かれ、次官及び各局長等列席し天皇陛下御親臨の上左記事項に就き諮詢を奉り議を凝らすことゝなつた

一、國防の本義竝に其の強化
一、國防に關する教育
一、外交の基調竝に其の刷新

# 農相官邸で閣議を開く

【東京二日發】政府は三日午前十時より農相官邸に閣議を開き重要事項を協議を行ふことになつた

# 樞府本會議けふも開く

【東京二日發】樞府本會議は二日午後一時より宮中において同會議を開かれ岡田首相以下全閣僚、陸海軍

# 國權を失はず領土、行政を保全

## 陸軍當局の聲明

【東京二日發】軍縮以來懸案問題の一たる二十八日東京に於て催した重大なる意味に於て極めて重大なるものがあるが、事實内的であつて對外的でなく、いづれの國の產業に依て始末の附けらるるものに非ず相當なく、現に外國品輸入に於ても

# 省、部中堅層も首腦部の根本方針を支持

## 一致團結實現に努力

【東京二日發】今後の政局問題に關する陸軍首腦部の重要なる根本方針は左の如く決定するに至つたが公式の懇談會は二日の交換をしてゐたが公式の懇談會は二日の交換をしてゐたが

# 清浦伯は再び上京

【釜山二日發】熊海に靜養中であつた清浦伯爵は平沼男爵とともに上京參內天機を奉伺するところあつたが、再び釜山に歸り靜養中又復上京することになつた

# 樞府顧問官會議

## きのふ正式に開かる

【東京二日發】樞府顧問官會議は二日午前十時より宮中に於て正式に開かれ、次官及び各局長等列席し天皇陛下御親臨の上左記事項に就き諮詢を奉り議を凝らすことゝなつた

一、國防の本義竝に其の強化
一、國防に關する教育
一、外交の基調竝に其の刷新

# 農相官邸で閣議を開く

【東京二日發】政府は三日午前十時より農相官邸に閣議を開き重要事項を協議を行ふことになつた

# 樞府本會議けふも開く

【東京二日發】樞府本會議は二日午後一時より宮中において同會議を開かれ岡田首相以下全閣僚、陸海軍

# 國權を失はず領土、行政を保全

## 陸軍當局の聲明

【東京二日發】軍縮以來懸案問題の一たる二十八日東京に於て催した重大なる意味に於て極めて重大なるものがあるが、事實内的であつて對外的でなく、いづれの國の產業に依て始末の附けらるるものに非ず相當なく、現に外國品輸入に於ても

# 政治經濟全般に根本的檢討をなせ

## 之に依り革新の實を擧げよ

### 政友會が聲明書發表

【東京二日發】政友會では今回の事件に鑑み二月卅一日午前十一時より本部に臨時總務會を開き久原房之助山本悌二郎氏等の各顧問、島田俊雄務以下各部及び在京部員五十餘名出席、先づ今回の事件に關し緊として何等かの意思表示をなすことに就き安藤總務より一日總務會で作成した草案を說明、之に對し河上、東、牧野、岡田の諸氏より種々意見の開陳ありて正午休憩、更に午後二時より再開、右案文を再檢討の上左の聲明書を發表して直ちに散會した

今回の事件は誠に容前の不祥事

# 國家的犧牲を生かし更始一新に邁進

## 社大黨から聲明

【東京二日發】今後の政局問題に對する陸軍首腦部の重要なる根本方針は左の如く決定するに至つたが公式の懇談會は二日の交換をしてゐたが

# 皇太后陛下陸相が御詫

## 陸軍當局の聲明

【東京二日發】今後の政局問題に對する陸軍首腦部の重要なる根本方針は左の如く決定するに至つたが公式の懇談會は二日の交換をしてゐたが

# 東京驛著後直ぐ西園寺公は參內

## 驛構內は物々しい警戒陣



# 騷擾將校へ位返上を命ず

## ◆…宗秩寮の發表

【東京二日發】騷に關聯を起した香田元大尉以下の將校二十名に對し位の返上を命ぜられ二日宗秩寮より左の如く發表された

◇位返上者

正七位　香田清貞
同　安藤輝三
同　野中四郎
同　河野壽
從七位　中橋基明
同　栗原安秀
同　丹生誠忠
同　坂井直
同　田中勝
同　對馬勝雄
同　竹島繼夫
正八位　林八郎
同　池田俊彥
同　高橋太郎
同　齋藤瀏
同　淸原康平
同　鈴木金次郎
同　安田優
同　中島莞爾

◇返上命理由

大命に抗し陸軍將校たるの本分に叛き騷軍將校分限令第三條第二號該當者と認め免官されたもの

# 山本文少尉免官

【東京二日發】內閣發表、陸軍步兵少尉　山本又兵衛

免本官

# 政治經濟全般に根本的檢討をなせ

## 之に依り革新の實を擧げよ

### 政友會が聲明書發表

【東京二日發】政友會では今回の事件に鑑み二月卅一日午前十一時より本部に臨時總務會を開き久原房之助山本悌二郎氏等の各顧問、島田俊雄務以下各部及び在京部員五十餘名出席、先づ今回の事件に關し緊として何等かの意思表示をなすことに就き安藤總務より一日總務會で作成した草案を說明、之に對し河上、東、牧野、岡田の諸氏より種々意見の開陳ありて正午休憩、更に午後二時より再開、右案文を再檢討の上左の聲明書を發表して直ちに散會した

今回の事件は誠に容前の不祥事

# 國家的犧牲を生かし更始一新に邁進

## 社大黨から聲明

【東京二日發】今後の政局問題に對する陸軍首腦部の重要なる根本方針は左の如く決定するに至つたが公式の懇談會は二日の交換をしてゐたが

# 皇太后陛下陸相が御詫

## 陸軍當局の聲明

【東京二日發】今後の政局問題に對する陸軍首腦部の重要なる根本方針は左の如く決定するに至つたが公式の懇談會は二日の交換をしてゐたが

# アルゼンチンに騷擾勃發

【サンチアゴ二日發】アルゼンチン國ラン・アルボリト兩市に於ける前方軍隊の暴動が擴大し一名の死者を出した

# 生絲制裁は強化

# 東京の有力銀行東株に融資

【東京二日發】東證を始め有力市中銀行は夫々今回東株關よりの要請を容れ必要に應じて融資することになつたが、既に二日差當り三百萬圓の融資を實行したが市中有力銀行も夫々東株に應同融資の融資を行つた

# 僧行社に待機の軍事參議官解散

【東京二日發】去る二十七日以來九段の僧行社に滯在して待機してゐた左の軍事參議官は二日午後九時一先づ解散した

# 結城興銀總裁商相と會見

【東京二日發】結城興銀總裁は二日午後四時阿田商相の招請に依り商相官邸に赴き會談したが時節柄其の內容は發表を差控へてゐる

# 定例部局長會議

定例部局長會議は二日午前十時半から長官公室で開催され各部局長出席、出征財務局長と初顏合せをかね意見の交換を行つた

# 人事

▲大川義雄氏（東京紙業專務）二日來北二日夜行にて歸京
▲吉田常俱氏（加屋商會取締役營業部長）シヤム、新嘉坡、西貢視察の爲め二日神戸より出發
▲中村常治氏（東京新報主筆）一日來北二日夜行にて歸北
▲飯島善三氏（日銀支社會計課長）來北中の所二日朝虎尾へ
▲福山長七氏（二日花蓮港へ
▲中村松彌氏（大阪商船北陸總支店長）▲中川幹太氏（商船東京支店長）▲中川小十郎、原田熊雄男阿部信行男等（樞密院議長近衛文麿公爵秘書官）▲松平康昌氏（宮內省內大臣秘書官長）▲小倉正恒氏（貴族院議員）▲川村竹治氏（樞密院顧問官）

# 船車發著表

## 三月分を發行

三月の本紙所載發着表は二月分船車發着時刻表を一般讀者に無代配布した

# 大阪商船出帆

【神戸行】
▲彰化丸　三月四日午前十時
▲基隆丸　三月九日午後四時
▲盛京丸　三月十日午後四時
▲長沙丸　三月十二日午後四時
▲瑞穗丸　三月十五日午後四時

【門司行】
▲彰化丸　三月四日午前十時
▲基隆丸　三月九日午後四時
▲盛京丸　三月十日午後四時
▲長沙丸　三月十二日午後四時
▲瑞穗丸　三月十五日午後四時

【福州上海行】
▲長沙丸　三月九日午後四時
▲瑞穗丸　三月十二日午後四時

【門司神戸行】
▲湖北丸　三月五日午後四時
▲南海丸　三月七日午後四時
▲香港行（廈門、汕頭、香港）
▲廈門丸　三月八日午後四時
▲福州廈門行（大連、大阪、神戸）
▲大連丸　三月二日午後四時
▲大連丸　三月廿二日午後四時

【基隆廈門行】
▲武昌丸　三月二十日午後四時
▲沖繩行（那覇、基隆）
▲湖北丸　三月五日午後四時
▲南海丸　三月七日午後四時

【基隆、花蓮港、蘇澳行（門司、神戸）】
▲高雄丸　三月十一日午後四時
▲比綠丸　三月十六日午後四時
▲西貢丸　三月廿六日午後四時
▲香港行（門司、神戸）
▲廈門丸　三月廿八日午後四時

【基隆、廈門行（門司、神戸）】
▲高雄丸　三月十一日午後四時
▲比綠丸　三月十六日午後四時
▲西貢丸　三月廿六日午後四時
▲香港行（門司、神戸）
▲廈門丸　三月廿八日午後四時

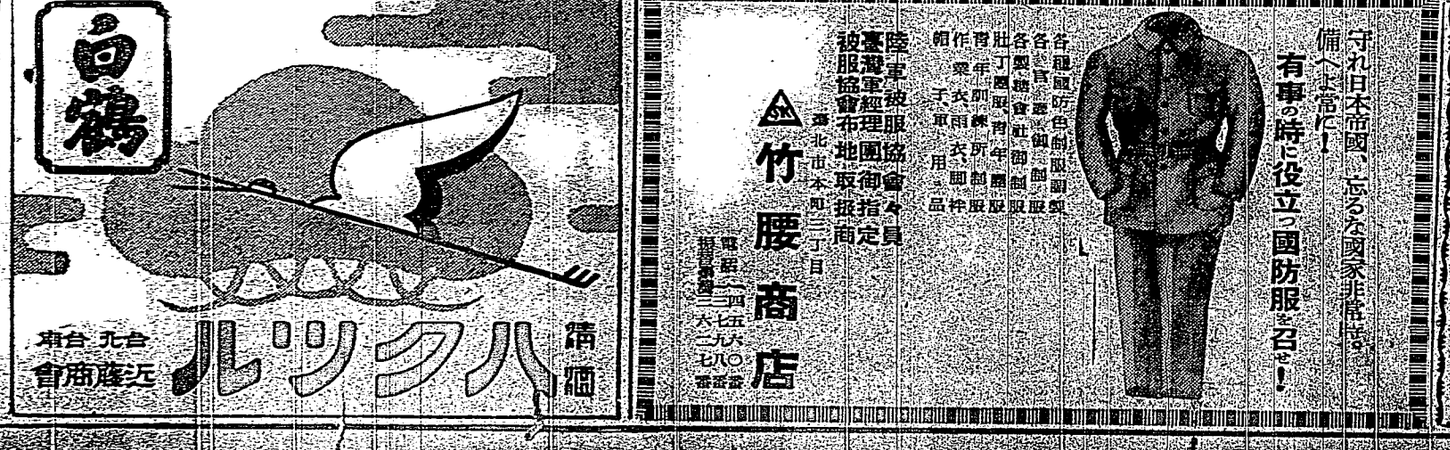
【大連直行】
▲日光丸　三月六日午後四時
▲大和丸　三月十一日午後四時
▲吉野丸　三月十八日午後四時
▲元明丸　三月廿七日午後四時

【大連仁川行】
▲日光丸　三月九日午後五時
▲大和丸　三月十四日午後五時
▲吉野丸　三月廿一日午後五時
▲元明丸　三月廿九日午後五時

【基隆馬公行】
▲高雄丸　三月八日午後四時
▲基隆丸　三月十日午後四時
▲高雄丸　三月十三日午後四時
▲基隆丸　三月十五日午後四時
▲高雄丸　三月十八日午後四時
▲基隆丸　三月廿日午後四時
▲高雄丸　三月廿三日午後四時
▲基隆丸　三月廿五日午後四時
▲高雄丸　三月廿八日午後四時
▲基隆丸　三月卅日午後四時

【馬公行】
▲豆陂丸　三月九日午後四時

【內地行】
▲辰馬汽船出帆
▲內地丸　三月九日
▲丸一組　三月九日




陸軍被服協會々員
臺灣軍經理團御指定
被服協會布地取扱商
竹腰商店
電話一四五九番
福岡市本町三丁目

御進級及び
御入學の御祝には
安くて手堅な
鎌野の時計を……
（寫眞代理店）
電話八武野町
鎌野時計舖

羽車ソース愛用者
景品付大賣出し
羽車ソース德用ビール瓶詰に限り優美な卓上用ソース瓶を進呈致します
羽車ソース
羽車ソース代理店　越智商店

●臺北的賣出し數に限りありますから賣切れぬ內にお早く御求め下さい。

安心してお賴み出來る店舖と商品案內

# 內外各地の經濟界大勢（十年下期）

## 臺灣は各方面共に躍進

### 臺銀總會席上における　頭取演說（要旨）

本期は二月廿六日に開催された臺灣銀行第七十三回株主總會における頭取演說の要旨であるが前年下期における臺灣、內地、支那、南洋、印度方面の經濟界の概觀が述べられてゐるので參考のため掲載することにした

## 臺灣

臺灣經濟界の概況を述ぶるに先ち內地、支那、南洋、印度方面の經濟界の概況を述べるの必要あるを以て先づ內地經濟界の概況より述ぶるに

◇**當期**　本店營業の總括は二億七千八百萬圓に達し前期に比し四百九十萬圓の增加を見たるが就中預金は其の大宗にして殖產興業の發展に伴ひ金一億九千九百六十三萬圓となりて前期に比し九百七十萬圓の增加を示したり而して本期輸入貿易中特に注意すべきは銀の輸入激增せることにして如斯は銀價の騰貴と民間不安に關聯せる一時的現象なるべき當初の豫想に反し本期に於ても尙ほ輸入超過の趨勢を辿りたるが其の內容を檢するに銀の輸入超過額は一億二千四百萬圓に達し前期に比し千五百七十萬圓の增加を示したり而して之が輸入超過額の大部分は香港、支那を經由して本島に輸入せられたるものにして此の點より觀るも銀の輸入激增は主として民間不安に基因するものと謂ふを得べく從て金融界の情勢を觀るに從前の如き增加振を示さずして前年同期に比し四百五十萬圓の增加を見たるが就中預金は其の大宗にして殖產興業の發展に伴ひ金一億九千九百六十三萬圓となりて前期に比し九

# 街に散る花

(76)

竹田敏彦作

寺本忠雄畫

永遠の呪咀(七)

「だ、だあれ……？」

突然、闇の中から聞こえた声に、実重は思わず立ちすくんだ。

「だあれ……？」

実重の声は、震えていた。

「何奴だ！　出て来い！」

実重は、懐中から短刀を取り出すと、声のした方へ突きつけた。

「ふ、ふ、ふ……」

闇の中から、不気味な笑い声が聞こえた。

「出て来い！　出て来ないと、斬るぞ！」

実重は、短刀を振り回した。

「ふ、ふ、ふ……」

笑い声は、闇の中から聞こえる

# 高雄の本島人料亭に天然痘患者二人發生

## 患者は平和病院に隔離し料亭は大消毒を行ふ

【高雄電話】高雄の本島人料亭に天然痘のひとり州市岡崎生（二五）が發病、州より田村衛生課長以下各係員が現場に急行、細菌檢査の結果天然痘と決定を行つた、果同じく天然痘と決定、患者は直に平和病院に隔離する一方同料亭の交通を遮斷し大消毒を行つた、尚患者の發病前の行動の調査を行つたが

# 春の聖林の流行性感冒

ふらは名ダンサー・ザ・フェース型に結ったお嬢さんスタイルでカノプル・ベーナイに姿をとどめてゐます

# 醫學の權威

## 二十七名が八年かかって解決せぬ

## 夏に來るもの冬に來るもの

## 我國獨得の流行性腦炎

### 比律賓で婦人徴兵令を實施

### 軍國風景異聞

# 日本舞踊は心で踊る藝術〟

滯歐二十年の小森敏氏は語る

豐島舜吉

# 肺病の秘藥　家傳の公開

鷄卵の黄身で

初期のものは全快

# 臺湾日日新報

# 第一萬二千九百六號

# 日本橋檜院秋季太手合戰譜

（第七局の三）

四段　中川　新子

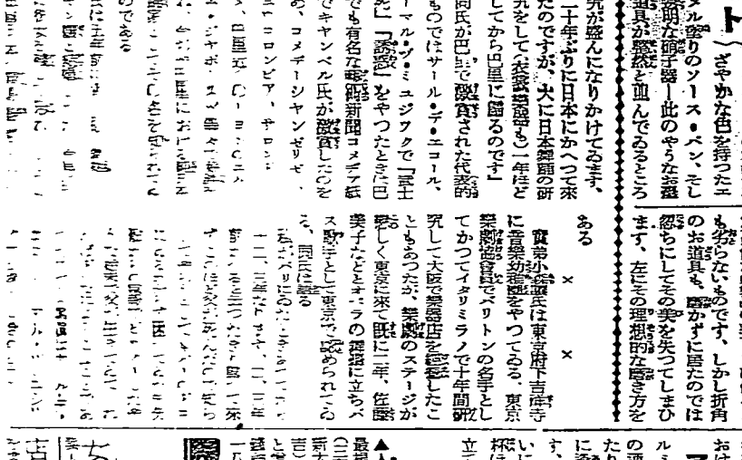
二段　伊藤清子

先

# 風邪も引かず一家揃って丈夫です

いくら着ても、マスクを掛けても身体が弱いと直く風邪を引くので困りますが、宅では揃って風邪も引かずに皆丈夫で楽しく暮して居ります、その秘訣は滋養強壮剤の養命酒を飲んで居る為、血行が良くなり、身体の芯からポカ〳〵温かく食事も美味しく進み、益々元氣で酷い寒さも身に應へぬ丈夫な身体になった御蔭です。






# 臺所トスキテ

## 鐵鍋の磨きはこの呼吸で

# 御存知かすで

# 男性ホルモン

# ンチストロンアン

# 風邪がコヂレて

非常に苦み漸やく快方に

群馬縣　田川國次

# 無代進呈

貴重なる處方書を無代進呈して居ります。

# 信州伊那の谷名産　靈澤家傳　養命酒

小瓶　壹圓七拾錢（六拾人）
大瓶　四圓五拾錢（六拾人）

全長の專賣局酒指定商店

製造元　養命酒本舗天龍館

製造元　養命酒本舗出張所

# 男性ホルモン化學の急速なる進歩

11—6

# 首相官邸を中心に 肅然！騎馬兵の往來

## 雪空に「臺日旗」を飜へして 鎭靜直後の帝都を一巡り

【東京二日發至急報】二日午後五時二十分解禁＝二十九日未明第二聯隊附陸軍歩兵少佐天野武輔氏は同聯隊の兵營内に於てピストル自殺を遂げた、原因は行動隊安藤大尉以下の屬すること自決したものである

## 天野歩兵第二聯隊附少佐 ピストルで自殺！

### 行動隊の歸順を說得し容られず いたく責任を痛感し

## 片倉少佐斬らる

### 叛亂軍側の元將校のために きのふ記事解禁

## 陸相官邸の玄關先で

## 同聯隊將校中 唯一人の生え抜き 三河武人らしい最期

【東京二日發】ピストルで自殺を遂げた歩兵第二聯隊附歩兵少佐天野武輔氏は三河武人の生れで士官候補生以來第二聯隊一筋に勤め大尉に進級二十四年の間一日の如く聯隊の將校中唯一人の生え抜きであつた、今回の事件發生に際し同聯隊附となり、同聯隊將校中唯一人の生え抜きであつたことから、聯隊將校團の中心となつて事件の善後處理に當つてゐたが、事件の責任を痛感し自決したものである

## 解散した臺北の大本教 きのふ撮す

【東京二日發】畏き邊りでは今年中に臣籍御降下遊ばされる伏見宮博英王殿下に二月左の如く勲一等に叙せられ桐花大綬章を授けられた旨宮内省より發表された

博英王

近く海軍少尉に御任官

正彦王

【東京二日發】伏見宮博英王殿下

昨日勳一等に叙せらる

正彦王

【東京二日發至急報】二日解禁＝二十六日午前九時半頃片倉歩兵少佐は叛亂軍の襲撃を受け陸軍省に登廳、職務の關係上意見を述べるべく大臣官邸の玄關に入らんとした時叛亂軍の元將校が刀を揮つて追らんとしたので片倉少佐はこの時大喝して「天皇陸下の命に依らずして皇軍を動かすとは何事か」と言つた所、極上官に叛亂軍は一歩兵大尉が軍刀をもつて側面から斬付けた、少佐は倒れひるまず大喝しつつ官邸に入らんとしたが出血多量で遂に倒れた、この時同僚の山下大尉が駈付け直ちに附近の病院に收容せんと手當を加へた、經過は良好で生命には別狀ない

片倉少佐は明治三十一年五月十八日鹿兒島縣に生れ士官學校第三十一期の歩兵科出身、關東軍參謀當時は關東軍司令部附として滿洲に在り非常な活躍をなし滿洲事變に缺くべからざる一人であつた、今回の事件發生に際し海軍砲術學校教官兼教頭として同校に在任し海軍砲術學校將校團の一人として同校の中堅であつた

下は伏見宮元帥令部總長宮殿下の第四王子殿下で御年二十五、昨年海軍砲術學校普通科學生を經て同校高等科學生であるが、また朝香宮正彦王殿下は朝香宮鳩彦王殿下の第二王子に在はし海軍砲術學校普通科學生で同じく今春四月御卒業、兩殿下とも海軍少尉に御任官の上臣籍に降下遊ばされ同時に天皇陸下から家名を賜ひ博英王殿下には伯爵を、また正彦王殿下には子爵を賜はり華族に列せられる

## 今年中に臣籍御降下の 伏見宮博英王殿下 朝香宮正彦王殿下

昨日勳一等に敍せらる

## 陸相官邸の玄關先で 片倉少佐斬らる

### 叛亂軍側の元將校のために きのふ記事解禁

【東京二日發至急報】二日午後五時二十分解禁＝二十九日未明第二聯隊附陸軍歩兵少佐天野武輔氏は同聯隊の兵營内に於てピストル自殺を遂げた、原因は行動隊安藤大尉以下の屬する上官として今回の騒擾事件に對し歸順を說得したが遂に容られなかつたため責任を痛感し自決したものである

## 同聯隊將校中で 唯一人の生え抜き 三河武人らしい最期

【東京二日發】ピストルで自殺を遂げた歩兵第二聯隊附歩兵少佐天野武輔氏は三河武士の生れで士官候補生以來第二聯隊一筋に勤め大尉に進級二十四年の間一日の如く聯隊の將校中唯一人の生え抜きであつたことから、聯隊將校團の中心となつて事件の善後處理に當つてゐたが、事件の責任を痛感し自決したものである

## 臺北の大本教 自發的に解散す

### 二十八日夜看板を撤去し 建物は商銀に返還

生會臺北支部、明光社臺北支社

## 陸軍御用日念記

## 行幸御取止めを 陸軍から奏請

### 行事も全部取止め

【東京二日發】來る十日は國祭記念日に付當日東宮御行啓主催で天皇陛下の臨幸を仰ぎ東宮御所内に記念觀覽會を開催する豫定の所、陸軍では我が國の陸軍創始以來の重大記念日に當り行幸御取止めを奏請すると共に軍部の行進、記念演習、其他の行事を一切取止める事となつた、御地方に於ける記念事業にも多大の影響を與へる事とて關係當局に於ても考慮中であつたが

## 電話新設 三一二五番

片倉生命保險臺灣支社

## 他殺死體

【臺北二日發】

## 故齋藤内府の しめやかな密葬

閣僚、陸海將星 弔問客引

【東京二日發】齋藤内府の密葬は二日午前十時から青山斎場に於て執行されたが、この葬儀には生前の内府の人柄を偲び閣僚、陸海將星を始め各界の名士多數參列、午前十時半頃から齋藤家の菩提寺である青山の天龍寺に於て齋藤家の宗旨である日蓮宗の法式に則り讀經、焼香があつて葬儀を終り、午後一時半靈柩は青山斎場に到着、ここで再び讀經、焼香があつて午後二時半火葬に附し、遺骨は同寺に埋葬された

【東京二日發】内務省警保局に於ては過般來臺灣に於ける警保局長の全國會同に際し、臺灣の特高課長を召集して（臺灣よりは山本恵一郎總務官が列席）世人注視の大本教今後の對策に就き意見交換を遂げつつある折柄、本島に於ける大本教總元締格たる、皇道大本教總主宰、並に昭和神聖會、皇道地方本部を置く臺北市御成町の大本教臺北分所では去る二月二十八日夜、こつそりと左の十四臺の看板を撤去するとともに、分所の建物に係る一切の登記を抹消した旨を明かした死者四十七名、負傷者四十餘名を出した臺北の花大綬章

## 甘谷隴西地方に きのふ激震が襲來

### 死傷五百四十餘名

【上海二日發通信】二日未明甘肅省甘谷縣西一帶に激震あり今迄に判明した死者五百名餘、負傷者二千以上に達してゐる

## 海に落つ 大村海軍機

搭乘者二名は行方不明

【大村二日發】大村海軍航空隊所屬の飛行機一機は二日午後一時半大村灣上にて訓練飛行中機體に故障を生じ海中に墜落搭乗者二名も行方不明となつた、目下懸命の捜索中である

## 草山に 大川、頭山、本間に 刑の執行を延期

### 一日大審院で決定

【東京二日發】大川周明、頭山秀三、本間憲一郎の三名に係る死刑の執行延期につき二日大審院で決定した

## バロン山方面は 一尺以上の積雪

### 警察電話線が切斷

【新竹發】新竹大湖郡地方は去る二月十九日以降の降雪と降雪とでヤン駐在所管内ベハン山方面に於ける積雪は一尺乃至一尺五寸に達してゐるらしくため

## 今回の事件に關し 支那紙は靜觀

### 長沙丸が齎した情報

【上海二日發】同船北支航路少九は時化の爲滬上よりはるかおくれ二日朝一時滬に入港したが當地に於ける今回の事件に關する情報左の通り

▲今回の事件に對する上海支那新聞の態度は大體に於て靜觀を持すると云つた態であるが、記事は第一面トップに大々的に掲載はしてゐるものゝいづれも同盟又は國通發で日本の新聞と何等異つた點なく、又論説等も見當らない

▲かねて上り居る支那人間には我が出先各機關に對し今回の事件は飽迄も局地的解決を希望して居り、支那側としても事件を擴大することは絶對に避けたいと言つてゐる

▲今回の事件に關し上海の

# 西園寺公牧野伯參內
## 詮衡首揆內府後任
### 暫留滯宮城內待至事濟
#### 沿途有數百警官嚴戒

東京二日電。天皇陛下爲時局收拾計。有旨召西園寺公。公爵後三時二十五分入京。亦傳旨召牧野伸顯伯。伯同日午後一時前後參內。恭有之恩命。決定留滯宮城內云。

## 元老上京當日
### 坐漁莊至靜岡驛
#### 沿途有數百警官嚴戒

興津二日電。興津坐漁莊西園寺公。二日午後。接廣幡侍從次長電話。所傳「至急上京參內」之聖旨。公忍懼莫措。二日上京。此日公服洋服襯服。而正裝後。陪中川小十郎。原田熊雄男。阿部靜岡縣知事。橋本同縣警察部長等。午前十一時五十分。出坐漁莊。爲警察部。新開社等。自動車二十數臺所擁。一路望靜岡驛而發。比至少顯靜長窪。午後零時二十九分。乘靜岡發上特急「富士號」上京。當日興津坐漁莊門前。沿途有數百名警官。周到警戒。如坐漁莊門前。出發十五分前交通遮斷。新聞記者。映畫攝影。一切厳禁。狀至嚴戒云。

## 三日中大命降下歟
### 內府後任清浦伯呼聲高
#### 首相平沼男近衞公有力

東京二日發電通至急報。西園寺公。帶時局收拾大任。二日午後三時二十五分。到東京驛上京。直乘宮內省所發自動車。參內謁聖。杰川聖安後。續於宮中。與一大樞相。逐淺宮相。本庄侍從武官長。岡田首相。牧野前內府諸重臣會見。更與川島陸相及各軍事參議官等。別相懇談。聽取各方面情勢。西園寺公之意向。似欲先決其有常時輔弼重任之內大臣。其人選觀之現下時局。極爲困難。但上原卿方面之意向。此際特別人選之論有力。清浦奎吾伯呼聲亦高。一面後繼內閣主班之銓衡。自政情安定。時局收拾。速要決定。急組强力擧國一致內閣。或經新內府。更垂問西園寺公。決定後。參內首相之謁。遲難避料。起川侍部。部方面。深有理解之樞密院副議長平沼騏一郎男。最有實現性。次貴族院議長近衞文麿公。亦有力云。

## 陸相決對西園寺公
### 直陳陸軍意見

東京二日發電至急報。想二日上京之西園寺公。軍當局腦部。或聽陸相之意向。陸軍對後繼內閣。竝重要政策之態度。既已決定。陸相決定代表陸軍。辛直坡露云。

## 決定訓令在外使臣
### 傳我外交方針不變
### 釋去列國誤會

東京二日電。今回事件所生之事情。釋去列國誤解。除去今後外交交涉障碍云。

## 鈴木侍從長
### 容態極好

東京二日電。鈴木侍從長。其後經過極好。一日朝來元氣回復。摘出彈丸二個。情態不須憂慮云。

## 香田以下廿名
### 命位還上
### 宗秩寮發表

東京二日電。香田元大尉以下將校二十名。命位還上。

# 臺銀總會
## 配當仍三分

東京二日電。臺灣銀行。二日午前十時。於東京支店。開定時總會。附議昭和十年下半期利益金處分案(配當年三分照舊)。可決。監查役柳悅耳氏任期滿了。再選重任。

# 三四兩日
## 東株仍休止

東京二日電。東株一日與取引組合商議後。決定三四兩日立會休止。

# 樞密顧問官會議
## 在宮中御前開會

東京二日電。事變以來。樞密顧問官。個々參內。恭叩聖安。而後交換情報意見。公式樞密顧問會議。尚未開。然二日午後一時。在宮中開之。岡田首相。以下全閣僚。陸海軍次官。及各局長等列席。即在御前。開重大會議云。

## 來陸軍記念日
### 罷記念祝賀會

東京二日電。來三月十日。第三十一回陸軍記念日。在靖國神社境內。各應募行僧行社主催記念祝賀會。決定中止。猶帝都其他全國各地。亦擬中止云。

## 故齋藤內府密葬
### 午前中朝野要人弔問

東京二日電。故齋藤內大臣密葬。二日正午。在四谷仲町私邸執行。階下應接室。安置白木饗柩。上置海軍大將副服制帽及大勳位。竝正二位位記勳章。足立陸軍大將。代表陸軍。參謀總長閑院宮殿下。代表皇族。伊藤海軍大將。代表海軍。及內府之文勳武烈。鶴見總持寺管長。伊藤道海師等。場內。寂寥經營。春子未亡人。及嗣子齊氏。諸近親者。最後告別。午後一時出棺。到桐谷火葬場。附諸茶毘。自午前中。參賜僚。陸海將星。其他各方面。機密顧問官。樞府要人。政府要人。及各界名士。會葬者。絡繹不絕云。

## 內大臣先選拔
### 求近衞文麿公出廬

東京二日電。稱齋藤實子後面背。金華山。占公園入口地域。四萬坪。諸建築順調進步。已完工大半。前重臣會議。內大臣乃常侍輔弼大任。欲得拳拳後繼內閣。御下問。須要急速決定。西園寺公。二日午後上京。恭謁聖安後。即聽取湯淺宮相其他重臣意向。決定後乃由宮相奏薦。而關此重任者。須求人格識見高超。至公至平人材。其人選務期愼重。會與近衞文麿公交涉。公離遇之。乃欲他求。既報候補者以外。且擧宇垣大將等。若無適任者。定趨近衞公出馬。總之。二日中決定人選。三日發介。同日開後繼內閣銓衡重臣會議。使之列席也。

# 高雄地方
## 受高氣壓影響
### 降雨寒冷

高雄地方。二月中雨天十九日。曇天五日。爲本月中之惡天候。而去二十九日。氣溫降至攝氏八度九分。爲本年第二次之寒冷。右據高雄測候所觀測所發表。

## 臺北第二中
### 舉卒業式
#### 知事代理臨席

臺北第二中學校卒業式。去二日午前十時。舉於同校講堂。臺北州知事代理戶水內務部長。谷本高校長。大加視學官。小松吉久諸氏。淺武二師校長。及市內各中等學校長及校徒父兄多數列席。刻至。唱國歌。校長奉讀勅語。對坐業生百六十五名。授與卒業證書。及訓諭。知事代理告辭。來賓送祝。在校生送別之辭。巡業生答辭。十一時盛況散會。

## 臺南商工協
### 定期總會先開
#### 共貯總會先開

臺南商工業協會定期總會。如既報。以二日下午二時。於市公會堂。先行開該會附屬之共榮貯金會總會。理事陳作舟氏致辭開會。會長張江泰氏。報告十年度事業及收支計算。決議後一時閉會。

# 首相下馬評別報
## 西園寺公入京奉答
### 且徵新進人物意向

二日東京電。稱目下各方面。風聲頗急。目下神祕有力者。乃樞密顧問官陸軍大將河合操氏。樞密院副議長平沼騏一郎男。山本達雄男。貴族院議長近衞文麿公。軍事參議官陸軍大將荒木貞夫男。清浦奎吾伯諸氏也。

# 全島高山二月降雪
## 稱領臺以來最初
### 大屯山彙降雪冊一回

三月中臺灣降雪。稱領臺關係。不得遠望大屯山。四十一年以來。新記錄。至七星山雪景。其實。至八合去二日。全島各高山。亦目。已白皚々。據臺北觀測所調查。自領臺以來。

# 共鳴中野正剛氏
## 國同數名脫黨

東京二日電。中野正剛氏。關國同指導精神。與三氏總裁。根本的意見不同。自脫黨以來。以現狀打破。漸進的國政改造爲目標。而等政治結社。東方會爲中心。組織同志。安達總裁。去月二十三日。訪國田首相。說明脫黨理由。

# 臺中州將使各市郡
## 開市街庄議員大會
### 欲使議員明白制度精神

臺中州下。各市會及各街庄協議會。至去二十九日。長開會宣告竝祝禮。就職長席。報告出席狀。原會員氏名。會員席次。依抽籤決定。參與員任命通牒報告。會議錄署名會員。共八。由所得稅割增加。而決通過。乃由寺尾議長閉會宣告竝祝禮。協議會員與官吏。及各街庄長。會場之中央接近于金華山麓。去二十四日。由事務局。及加茂組立會。分割土地。與四日市之景灣館。

# 臺灣館
## 去一日興工

屏東新高郡市議員內屋敷岐阜、□□□□博覽會委託。據明治神宮外苑。

# 岐阜博覽會
## 臺灣館

# 陸軍企望後繼內閣
## 實行四項主要政策

東京二日電。後繼內閣。陸軍首腦部。對企望左。

一、後繼內閣主班。竝閣僚對現實一般情勢。及區際的環境。竝軍部內情勢等。必有能徹底斷行革新之識見。與實行力。及爲國民信賴。而有德望之人物。

一、後繼內閣主班。竝閣僚對現實一般情勢。及區際的環境。竝軍部內情勢等。必有能徹底斷行革新之識見。與實行力。及爲國民信賴。而有德望之人物。

一、外交積極刷新。

此等項目。爲歷代陸相。入閣之條件。或要望。再行提起。此外在任中常主張。特此次後繼內閣。必要積極急速實行。而軍亦最大限度。協力支援。使之實現態度極强硬云。

# 省部衆課長級以下
## 對首腦部根本方針
## 一致團結實現

# 南州土地改良協會
## 鹽分地所關研究
### 北門新化新豐三郡日期

臺南州土地改良協會。昭和十年度。計畫事業中之鹽分地改良所關研究會。決定于北門。新化。三郡倡開。北門郡。擇三月二朝九時。開於佳里街。其研究事項。就開於指導獎勵從來在各郡實施之方法。次則研究。發表。此外樹子脚農場主任。竝州水利課技師。就鹽分地改良之甘蔗栽培爲題講演。參加者北門四十名。新豐。會文各十五名。又新化。新豐二郡。以三月七朝九時。會議所出席者如豐新化兩郡之勸業係員。街庄長。技術員。嘉南大圳部部員。

# 澎湖稅制記念
## 宣傳納稅

澎湖廳稅務課。去一日稅制訪念日。依例有種々行事。努力普及納稅思想。即一日午前十時。梅本課長。暨各職員。及各街庄吏員。一同參拜澎湖神社。而一日起七日間。爲宣傳週間。以種種施設。圖納稅思想之涵養背及云。

# 鄉軍城西分會
## 帝都事變
### 傳達上司意向

各後政局當局要所關。陸軍首腦部。

# 彰化
## 募新學童

彰化市內各學校。新學年兒童之募集。決定如左。入學願。希早提出爲宜。

▲彰新小。尋常科百二十名。等科六十名。▲彰化一公小。三百名。高等科六十名。▲

# 羅東
## 納稅行事

羅東街。去一日納稅紀念日。舉行種々行事。午前九時。在街內各要所。及各學校。一齊鳴鐘。午後一時。在羅東公會堂。舉行納稅表彰式。及講演會。

# 二林庄協議會

北斗郡二林庄第十九回協議會。去二十七日午前九時。在同庄役場會議室開。之。當日臨席官那須郡守。關本街庄主任。矢部郡屬等。協議會員十六名中。缺席者謝絕。

# 臺南
## 獸組國講

臺南州下。各市會及各街庄協議會。至去二十九日。

# 嘉義
## 擬續設養

嘉義地方。日夜間。冷氣殺人。二日午前六時。寒暖計。

# 大溪街國演
## 保正投書被拘

大溪郡大溪街。保正候補者。選舉。有投書被拘。

# 大川專務
## 談興業製紙

臺中州北斗郡北斗街第二回協議會。去二十九日。午前九時。開於北斗。

# 北斗協議會

臺中州北斗郡北斗街第二回協議會。去二十九日。午前九時。開於北斗。

# 樂園國講
## 養生

臺北樂園國講習所。募集。

# 修養發會

修養團第一回。郡支部。去一日後三時。在羅東公會堂。舉行發會式。團員百餘名。

# 彰化
## 募新學童

彰化市內各學校。新學年兒童之募集。決定如左。入學願。希早提出爲宜。

▲彰新小。尋常科百二十名。等科六十名。▲彰化一公小。三百名。高等科六十名。▲

# 羅東
## 納稅行事

羅東街。去一日納稅紀念日。舉行種々行事。午前九時。在羅東公會堂。舉行納稅表彰式。及講演會。

# 二林庄協議會

北斗郡二林庄第十九回協議會。去二十七日午前九時。在同庄役場會議室開。之。當日臨席官那須郡守。關本街庄主任。矢部郡屬等。協議會員十六名中。缺席者謝絕。

# 臺南
## 獸組國講

臺南州下。各市會及各街庄協議會。至去二十九日。

# 嘉義
## 擬續設養

嘉義地方。日夜間。冷氣殺人。二日午前六時。寒暖計。

# 大溪街國演
## 保正投書被拘

大溪郡大溪街。保正候補者。選舉。有投書被拘。

# 大川專務
## 談興業製紙

臺中州北斗郡北斗街第二回協議會。去二十九日。午前九時。開於北斗。

# 北斗協議會

臺中州北斗郡北斗街第二回協議會。去二十九日。午前九時。開於北斗。

# 樂園國講
## 養生

臺北樂園國講習所。募集。

# 修養發會

修養團第一回。郡支部。去一日後三時。在羅東公會堂。舉行發會式。團員百餘名。